



白馬村・小谷村では「ふきのとう」を方言で『ちゃんめろ』と言います。

## 小谷村文化祭に砂防展を出展

小谷村文化祭が11月2日と3日に開催され、姫川砂防事務所では砂防事業の紹介や台風26号で被災した伊豆大島の土砂災害写真を展示しました。伊豆大島では、砂防堰堤が設置されていたところは土石流が街まで流れていないことが写真で確認でき、砂防施設整備の重要性を感じていただきました。

土石流、地すべり、がけ崩れの模型展示では、子ども達は説明を聞きながら興味深そうに模型を触り、楽しみながら土砂災害の恐ろしさを知ってもらえたようです。

また、雨の量を自分で量り、大雨のときは自らの判断で逃げられるように、ガラスのコップで作った簡易雨量計の配布を行いました。



事務所の事業紹介や伊豆大島の土砂災害写真のパネル展示



土石流等の模型を触る子ども達

## 新潟大学大学院生が姫川流域の地形地質を視察

新潟大学理学部の大学院生ら12人が10月31日に、姫川流域の複雑な地形地質を学ぶため視察に訪れました。

一行は、明治44年に大崩壊した稗田山を、国土交通省松本砂防事務所(姫川出張所)の案内で視察した後、姫川砂防事務所が恒久対策を進めている小谷村池原地区の災害関連緊急地すべり対策工事を視察しました。

また、当事務所会議室で、長野県砂防ボランティア協会副会長で北陽建設(株)常務取締役の宮澤さんから、姫川流域の地形地質について説明を受けました。学生達を引率する奈良間准教授は、「学生達により刺激となった。来年も是非視察したい。」と貴重な体験に感謝していました。

姫川流域は、南北に糸魚川-静岡構造線が走り、東西で特徴の異なる地質から構成される全国的にも希少な地帯であり、学生の皆さんの大変良い学習の場になったようです。



池原の現場を案内する職員と熱心に説明を聞く学生達

## 平成 25 年度第 1 回三砂防事務所研修会を開催

長野県内に 3 つある県の砂防事務所（土尻川砂防事務所、犀川砂防事務所、姫川砂防事務所）では、例年砂防工事等に係る技術力向上を目指して研修を行っています。今年度の第 1 回は、11 月 1 日に姫川砂防事務所で開催し、午前には現場見学会を行い、午後は室内研修会を行いました。

### 【現場見学会】

白馬村野平地区の砂防堰堤工事は、県内でも最近施工事例が増えてきた I N S E M（インセム）工法を採用した現場です。

I N S E M（インセム）工法は、掘削した土砂にセメントを混合し、堰堤を構築するものです。掘削した土砂の発生量を減らすことができる工法で、コンクリート堰堤と経済比較によって当工法が採用となりました。



完成間近な白馬村野平地区 砂防堰堤（11 月 1 日）



工事が進む小谷村池原地区（11 月 1 日）

小谷村池原地区の地すべり対策工事は、今年 4 月頃（雪解けが原因と思われます）から変状が現れ、5 月に発生した災害の対策工事です。

6 月 27 日に「災害関連緊急地すべり対策事業」として採択され、地下水位を下げるための水抜きボーリング工や、斜面を安定させるためのアンカー工等の恒久対策工事を既に発注しており、水抜きボーリング工については年内の完成を予定しています。

### 【室内研修会】

午後の室内研修では、日本工営（株）流域・防災事業部の飯沼氏を講師に招き、「大規模土砂災害の危機管理と地域防災」についてと題し、近年全国で発生した大規模土砂災害の事例をもとに、国土保全と防災に関わる講義を受講しました。改めて地域の防災を考える機会となりました。

### 白馬村・小谷村 旬情報

スキーシーズン到来です。白馬村・小谷村の各スキー場が今月中旬にオープンしました。スキー人口が減少する中で、『ちゃんめろだより』をご覧の姫川地域以外の皆さんも、ぜひ白馬・小谷に泊まってスキーをやってみたらいかがでしょうか。（私たちが計画しています！）

例年より早い降雪。今年はスキーが楽しめそうですね。



長野県 5 年計画

しあわせ信州創造プラン推進中！

詳細は URL（長野県公式ホームページ）をご覧ください。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kensei/shisaku/5kanen/shiawase.html>